『探求 文学国語』［212桐原 文国711］観点別　教科書の特色

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 内容の特色 |
| (1) 内容の選択・程度  ・学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材の用意 | ①文学的な文章教材は、小説・韻文（詩・短歌・俳句）作品が、明治から平成に至る各時代からバランスよく採録されている。  ②「随想」単元では、筆者の柔軟な思考法に触れられ、自己のあり方から他者との関係までを問うことのできる随想教材が採録されている。  ③「文学評論」単元では、文学および文学の周辺について論じた評論が採録され、本科目での学習効果をさらに高める工夫がされている。  ④各教材には、主体的・対話的で深い学びを実現するための言語活動「活動」が効果的に設定されている。また、取り組むうえでの手がかりが特に必要と考えられる6つの「活動」に対しては、「活動のプロセス」が付され、手順が詳しく解説されている。 |
| (2) 構成・分量  ・学習指導を有効に進めるための構成・分量 | ①小説分野は、Ⅰ部9教材・Ⅱ部8教材の計17教材から構成されており、十分な教材数が確保されている。また、その内容も、「山月記」「こころ」「檸檬」「舞姫」といった評価の高い教材に加えて、個性豊かな表現や軽妙な語り口により、小説読解の奥深さに触れることのできる作品を幅広く採録している。  ②「詩」単元・「短歌・俳句」単元は、それぞれ各部に1単元ずつ計4単元が置かれ、Ⅰ部とⅡ部とで採録の切り口を変えるなどして、鑑賞のしかたに変化を持たせる工夫がされている。  ③「随想」単元は2単元（2教材）から、「文学評論」単元は4単元（4教材）からそれぞれ構成されており、適度な分量である。また、それぞれ本科目での学習において効果的な位置に置かれている。  ④「活動のプロセス」は、1～6の6教材が、それぞれ当該「活動」の直後に配置され、手順や実例が詳しく記されるなど、「活動」と一体的に学習を行ううえで有機的な連動が図られている。 |
| (3) 表記・表現および指導上の工夫  ・学習意欲を高めるための配慮  ・用語・記号の取り上げかたおよび記述のしかた  ・印刷や製本の配慮 | ①本文に付した記号や脚注番号・脚問の印が学習上効果的である。  ②写真が華美に流れず、本文内容と連動して効果的に配置されている。  ③脚注や重要語が適宜挙げられており、学習しやすい。  ④「学習の手引き」や脚問で、本文読解に関わる重要な点が要領よく押さえられる仕様になっている。  ⑤「活動のプロセス1～6」が掲載され、言語活動をより効果的に指導することができる。  ⑥「掲載作品の舞台・作者ゆかりの地」「文人の筆跡」「翻訳が広げる原文の可能性」「書き出しが誘う小説世界」などの付録ページが充実しており、生徒の自学自習や創作活動に役立つ。  ⑦ユニバーサルフォントが用いられ、視認性に優れている。 |
| (4) その他  ・(1)～(3)以外の観点  ・総合的な観点 | ①ジャンル別単元構成となり使いやすい。  ②冒頭の「感触―世界のリアル」は、世界を言葉で表現しようとすることの意味や、小説・文学の意義について述べており、本科目での学習への導入としてふさわしい内容となっている。  ③「山月記」、Ⅱ部「小説Ⅰ」単元、「詩人・草野心平からの贈り物」などの、複数テクストを用いた教材が充実している。  ④「小説コラム1～4」が掲載されており、小説での学習をもとに、発展学習としての深い学びを可能にしている。  ⑤各教材に適宜付されたミニコラム「小道具と時代背景」により、作品内の事物が映し出す時代背景が解説され、作品世界により臨場感を持たせる工夫がされている。  ⑥教科書の内容に関連したＱＲ資料を掲載し、学習の広がりを促す工夫がされている。  ⑦実際の授業を想定した授業展開例や評価基準例などを丁寧に示した指導書、ワークシートや評価問題、デジタルデータなど、指導用資料が充実している。 |